

播磨国安黒村文書(2)概要

- 1: 文書群番号 082011
- 2: 文書群名 播磨国安黒村文書(2)
- 3: 出所 猪尾家
- 4: 家業・役職等 近世：庄屋
- 5: 地名 播磨国宍粟郡安黒村／兵庫県宍粟郡安黒村／宍粟郡神戸村安黒／宍粟郡一宮町安黒／宍粟市一宮町安黒
- 6: 行政区分 山崎藩領／幕府領／尼崎藩領／飾磨県／神戸村／一宮町／宍粟市
- 7: 歴史 安黒村は江戸期～明治22年(1889)までの村名。もと播磨国宍粟郡神戸村の一部。寛永19年(1642)山崎藩主松平康映の時に神戸村は須行名村を分村し、さらに寛文9年(1669)神戸村は伊和村と安黒村に分かれた。明和6年(1769)以降尼崎藩の飛び地領となった。明治22年ふたたび神戸村の大字となった。昭和31年(1956)以降は一宮町の大字。
猪尾家については未詳である。
- 8: 伝来 なんらかの理由で出所の所蔵を離れた当文書群を、昭和58年(1983)3月に史料館が古書籍商より購入。平成7年(1995)3月に整理・目録作成を完了した。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 26点(目録件数26件)
- 11: 年代 宝永4年(1707)～慶応元年(1865)
- 12: 構造と内容 本文書群は①近世の安黒村関係、②金融関係で構成される。①には皇祖、村政、戸口関係の史料がある。②は田地の質入証文や売渡証文である。
- 13: 関連史料 播磨国安黒村文書(1)
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 中村由佳